

# 第68回 和歌山市医師会医学会総会 ご案内

日時 ▶ 平成28年11月5日(土) 午後3時  
場所 ▶ 和歌山ビッグ愛4階 和歌山市医師会大会議室

3:00 会長挨拶 和歌山市医師会会長 宮崎 孝夫

3:10 特別講演 座長：NPO日本健康増進支援機構理事長 榎本 雅夫 先生

## 演題 『腸内細菌叢と生体防御・免疫系』

講師 国立研究開発法人理化学研究所 統合生命医科学研究センター 大野 博司 先生

われわれの腸内には膨大な数の共生細菌群が棲息している。この腸内細菌叢は、ヒトでは500~1,000菌種にもものぼり、その総数は100兆個以上と、約37兆個とされるヒトの個体を形成している体細胞数の数倍にも達し、さらにその遺伝子総数は一人当たり数十万と、ヒト自身のゲノムに存在する約2万2千と言われる遺伝子数をはるかに凌駕している。このように多種多様な菌からなる腸内細菌叢は、菌同士の相互作用により肝臓よりも複雑といわれる代謝系を形成するとともに、さらに宿主との相互作用により「腸エコシステム」と呼ばれるユニークな環境系を構築し、ヒトの生理・病理に多大な影響を与えている。したがって、ヒトの生理・病理を真に理解するためには、腸エコシステムの理解が不可欠である。しかし、膨大な数の細菌群と宿主が複雑に相互作用する腸エコシステムを個体レベルで解析する良い手法はこれまでなかった。演者らは、ゲノム(DNAレベル)、トランスクリプトーム(RNAレベル)、メタボローム(代謝産物レベル)など異なるレベルの網羅的解析法を組み合わせた統合オミクス手法を提唱し、その有用性を示してきた。本講演では、統合オミクス統合解析法により得られた、腸内細菌が宿主の生体防御や免疫系に及ぼす影響について紹介する。

### 講師学歴、研究経歴および職歴

- 1983年3月 千葉大学医学部 卒業
- 1983年4月 千葉大学医学部附属病院麻酔科入局
- 1987年4月 千葉大学大学院医学研究科博士課程 入学
- 1991年3月 同上 修了
- 1991年4月 千葉大学医学部助手
- 1994年4月 アメリカ合衆国国立保健研究所(NIH) 訪問研究員
- 1997年5月 千葉大学医学部助教授
- 1999年4月 金沢大学癌研究所教授
- 2004年4月 理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター  
免疫系構築研究チーム チームリーダー
- 2005年4月 横浜市立大学大学院 客員教授(現在に至る)
- 2007年4月 千葉大学大学院医学研究院 客員教授(現在に至る)
- 2013年4月 理化学研究所 統合生命医科学研究センター  
粘膜システム研究グループ グループディレクター(理化学研究所内の改組による。現在に至る)
- 2014年4月 理化学研究所 主任研究員(兼務)(現在に至る)

【受賞歴】 NIH Fellows Award for Research Excellence (1996年)  
3回のはな同窓会賞学術賞 (1998年)  
日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員表彰 (2010年度)  
生物工学論文賞 (2011年)  
第20回安藤百福賞大賞 (2015年度)

4:30 閉会挨拶 和歌山市医師会理事 嶽 良博